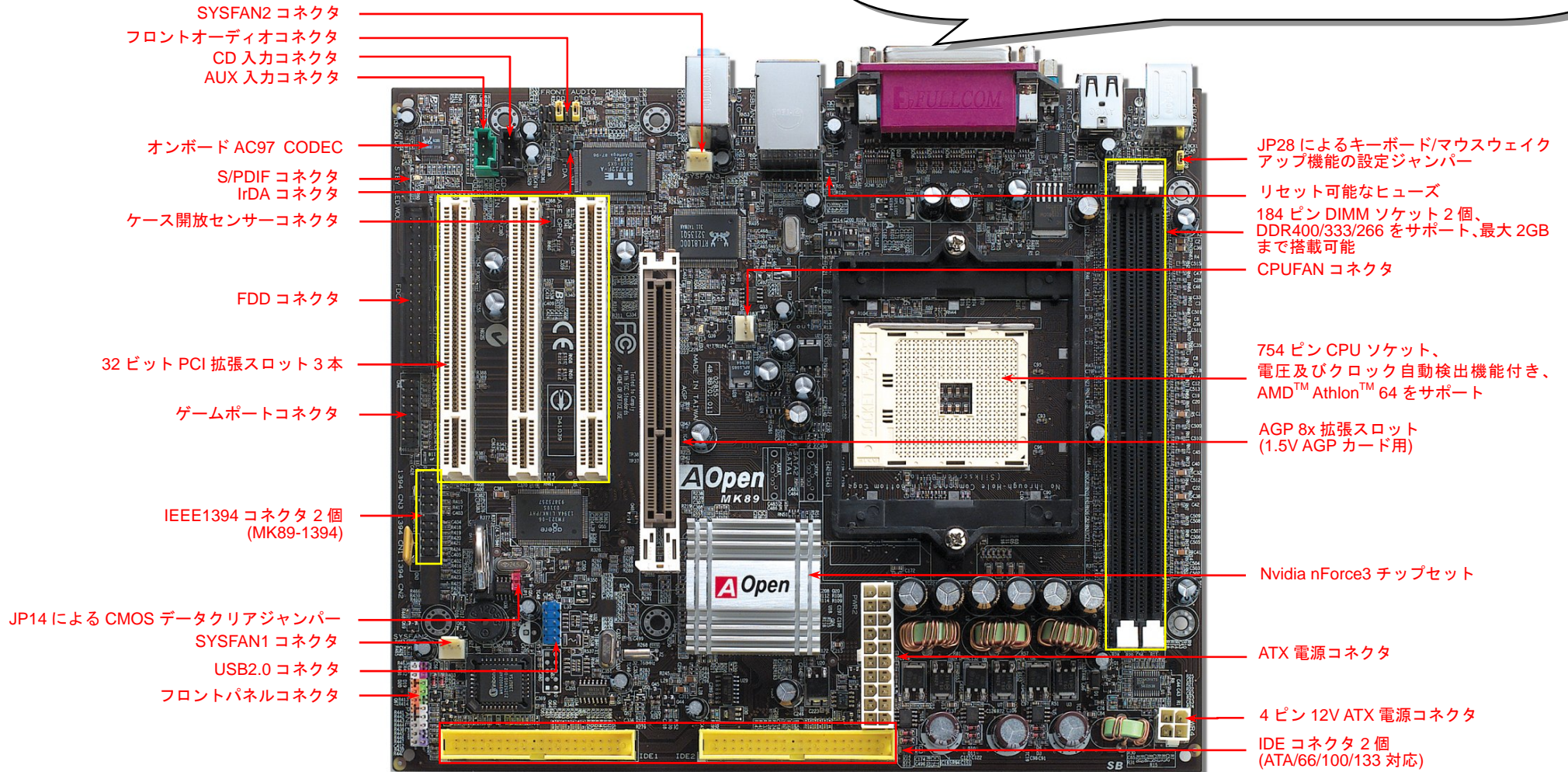
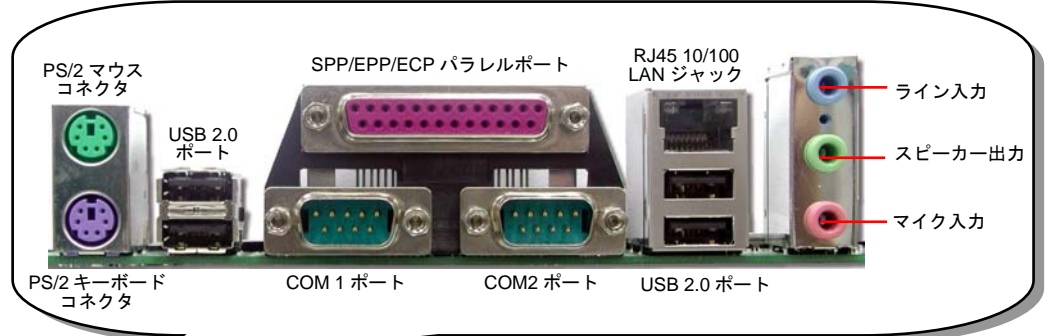


MK89-N MK89-L MK89-1394

イージーインストールガイド



当イージーインストールガイド中の規格及び情報を変更する権限は AOpen にあります。予告無く変更される場合がありますのであらかじめご了承ください。

インストールの準備



このマザーボードをインストールするのに必要な情報は全てこのイーージーインストールガイドに記載されています。さらに詳細な情報については**オンラインユーザーズマニュアル**か**Bonus Pack CD ディスク**に付属しています。地球保護へのご協力に感謝いたします。

付属品のチェックリスト

- ✓ 当イーージーインストールガイド 1部
- ✓ 80 芯線 IDE ケーブル 1 本
- ✓ フロッピードライブケーブル 1 本
- ✓ IEEE1394 ケーブル 1 本(MK89-1394)
- ✓ Bonus Pack CD ディスク 1 枚
- ✓ 登録カード 1 枚



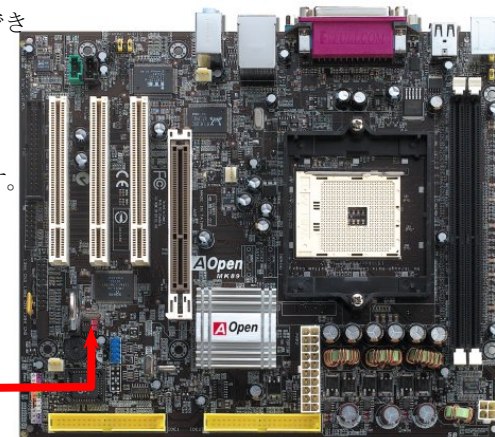
PART NO: 49.8B701.003

DOC. NO: MK89N-EG-J0308A

1. JP14 による CMOS クリア

CMOS をクリアする事でシステムの初期値設定に戻ることができます。CMOS のクリア手順は下記の通りです。

1. システムの電源を切り、AC パワーコードを抜きます。
2. コネクタ PWR2 から ATX 電源ケーブルを取り外します。
3. JP14 の位置を確認し、2-3 番ピンを数秒間ショートさせます。
4. 1-2 番ピンをショートして JP14 を通常の設定に戻します。
5. ATX 電源ケーブルをコネクタ PWR2 に差し戻します。



1 番ピン



正常動作の場合
(初期値)



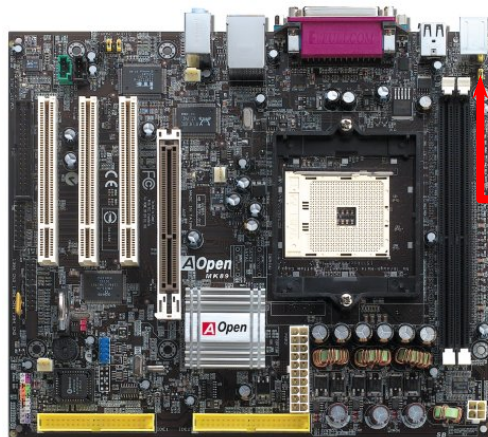
CMOS クリア
の場合

ヒント: CMOS クリアはどんな時に必要?

1. オーバークロック時の起動失敗...
2. パスワードを忘れた...
3. トラブルシューティング...

2. JP28 キーボード/マウスウェイクアップ機能の設定ジャンパー

当マザーボードにはキーボード/マウスウェイクアップ機能が備わっています。ジャンパーJP28により、マザーボードに接続されたキーボードやマウス操作によりシステムがサスペンドモードからリジュームする機能のオン・オフが可能です。工場出荷時のデフォルト設定では“オフ”(1-2)になっており、ジャンパーを2-3に設定するとこの機能がオンになります。



1 番ピン



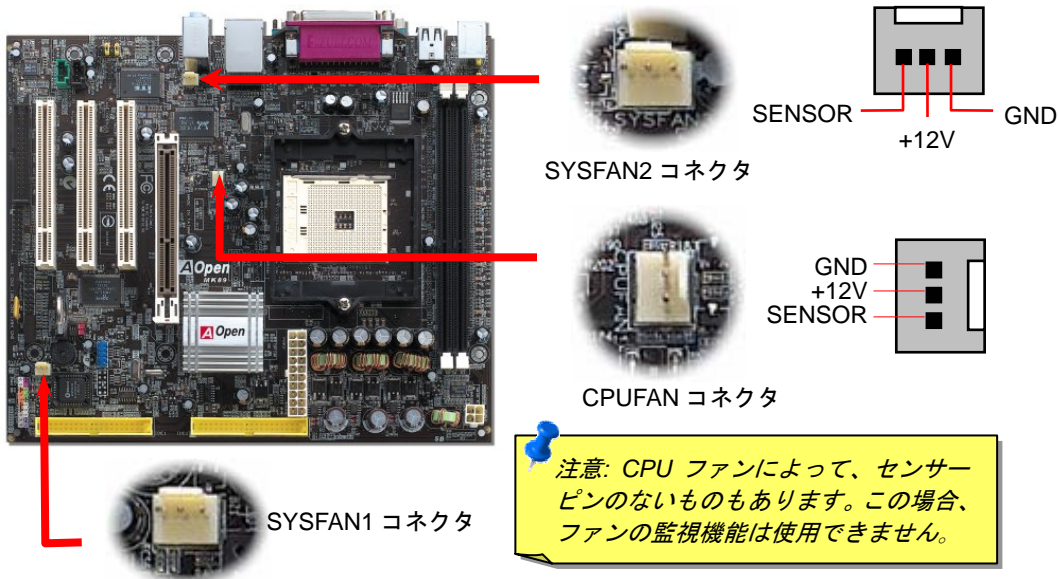
オフ
(デフォルト)



オン

3. CPU 及びシステムファンのインストール

CPU ファンのケーブルは 3 ピンの CPUFAN コネクタに差し込みます。筐体ファンを使用される場合は、ケーブルを SYSFAN1 または SYSFAN2 コネクタに差し込むことも可能です。



注意: CPU ファンによって、センサーピンのないものもあります。この場合、ファンの監視機能は使用できません。

5. CPU 電圧及びクロックの設定

調整可能な CPU クロック

コアクロック = CPU バスクロック * CPU レシオ

バススピード = CPU 外部バスクロック x 2

PCI クロック = CPU バスクロック / クロックレシオ

AGP クロック = PCI クロック x 2

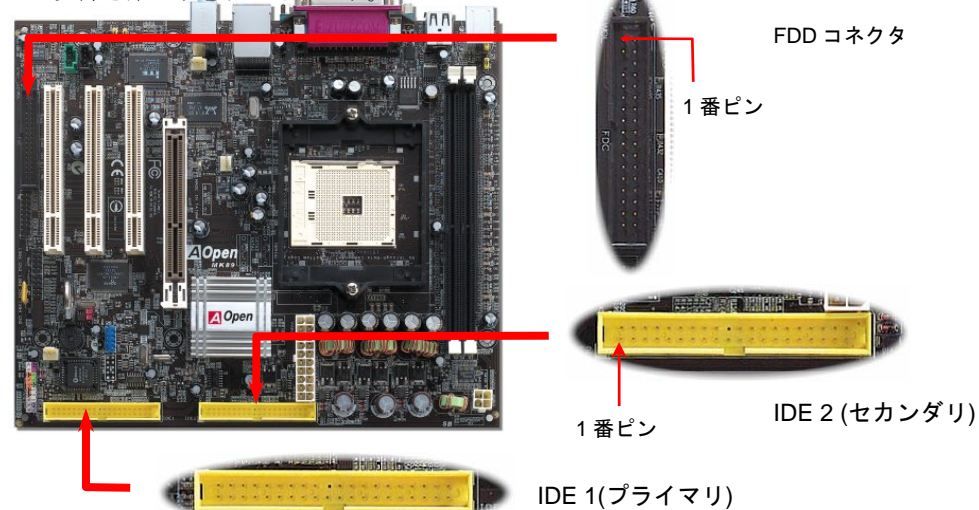
CPU	CPUコアクロック	クロック	レシオ
Athlon 64 3200+	1.8GHz	200MHz	9x
Athlon 64 3400+	2.0GHz	200MHz	10x
Athlon 64 3700+	2.2GHz	200MHz	11x
Athlon 64 4000+	2.4GHz	200MHz	12x

注意: CPUの速度が目覚しく向上しているため、当インストールガイドをご覧になる時に既に最速のCPUが市場に出回っているかもしれません。この表はあくまでも参考用のみです。

警告: nForce3 チップセットは 200MHz システムバスと 66MHz AGP クロックをサポートしていますが、より高速のクロック設定はシステムに重大な損傷を与える可能性があります。

4. IDE 及びフロッピーケーブルの接続

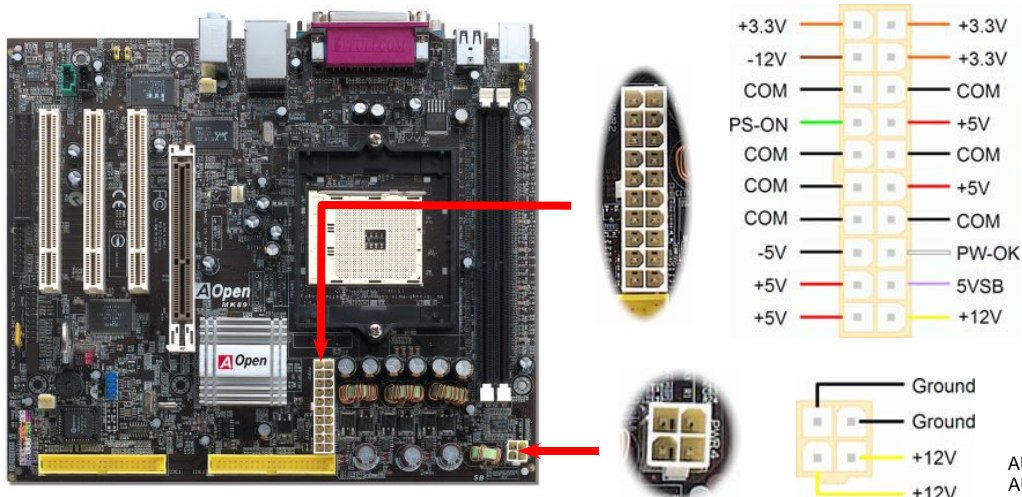
34 ピンフロッピーケーブル及び 40 ピン IDE ケーブルをそれぞれフロッピーコネクタ FDD 及び IDE コネクタに接続してください。1 番ピンの向きにご注意ください。間違えますとシステムに支障を来す恐れがあります。



ヒント:オーバークロックにより、システム起動に失敗してフリーズした場合は、<Home>キーを押すだけでデフォルト設定に戻りますし、5 秒間待って AOpen 「ウォッチドッグ ABS」がシステムをリセットしハードウェアが再度自動検出されるようにもできます。

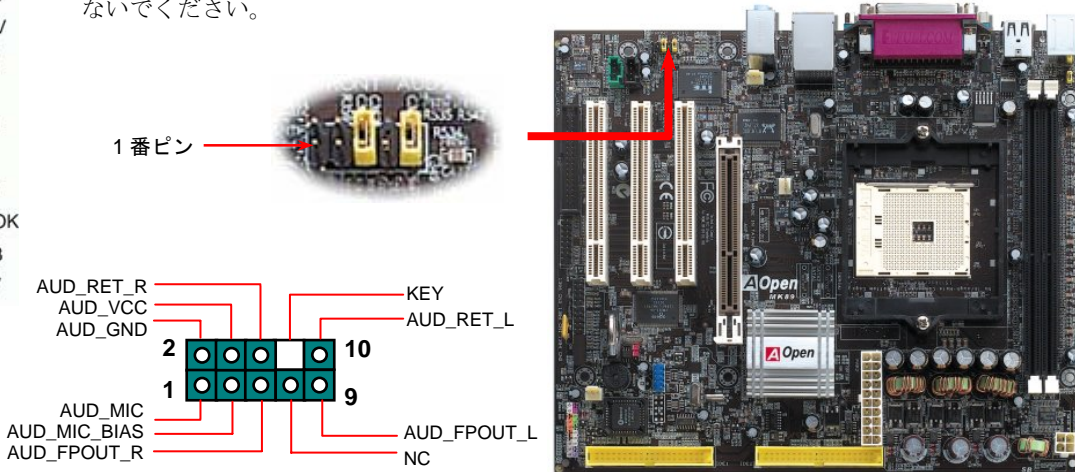
6. ATX 電源コネクタの接続

このマザーボードには 20 ピン及び 4 ピン ATX 電源コネクタ各 1 個が装備されています。差し込む際は向きにご注意ください。20 ピンのコネクタに接続する前に、まず 4 ピン 12V 用コネクタに接続するようご注意ください。

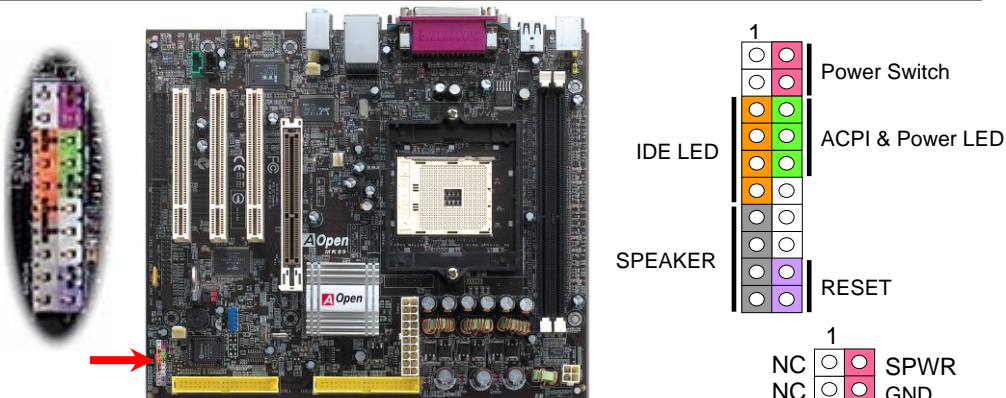


8. フロントオーディオコネクタの接続

ケースのフロントパネルにオーディオポートが設定されている場合、オンボードオーディオからこのコネクタを通してフロントパネルに接続できます。なお、ケーブルを接続する前にフロントパネルオーディオコネクタから5、6、9、10番のジャンパーキャップを外してください。フロントパネルにオーディオポートがない場合は5、6、9、10番の黄色いキャップを外さないでください。



7. フロントパネルコネクタの接続



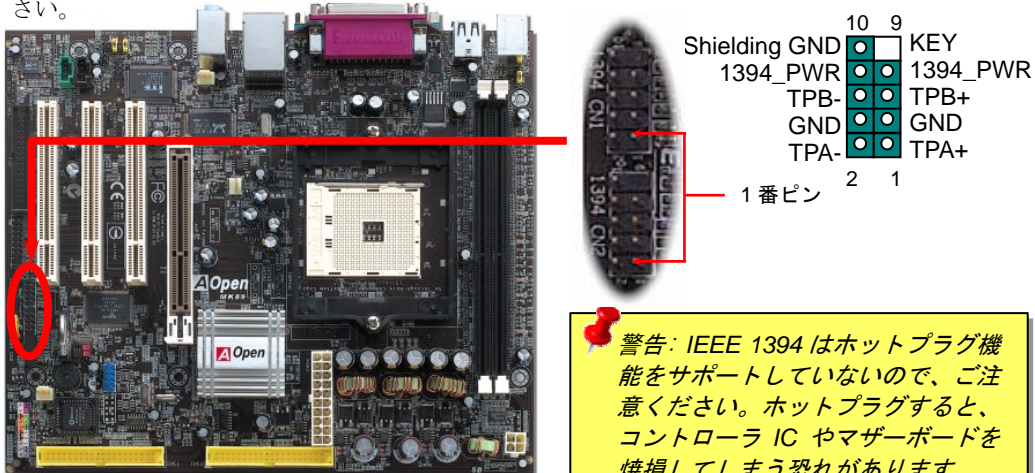
電源 LED、スピーカー、電源、リセットスイッチのコネクタをそれぞれ対応するピンに差し込んでください。BIOS セットアップで“Suspend Mode” の項目をオンにした場合は、ACPI 及び電源の LED がサスペンドモード中に点滅します。

お持ちの ATX 筐体における電源スイッチのケーブルを確認してください。これはフロントパネルから出ている 2-ピンメスコネクタです。このコネクタを SPWR と記号の付いたソフトウェア電源スイッチコネクタに接続してください。

NC	○	○	SPWR
NC	○	○	GND
+5V	○	○	ACPILED-
IDE LED	○	○	GND
IDE LED	○	○	ACPILED+
+5V	○	○	NC
+5V	○	○	NC
GND	○	○	GND
NC	○	○	RESET
SPEAKER	○	○	GND

9. IEEE 1394 コネクタの接続

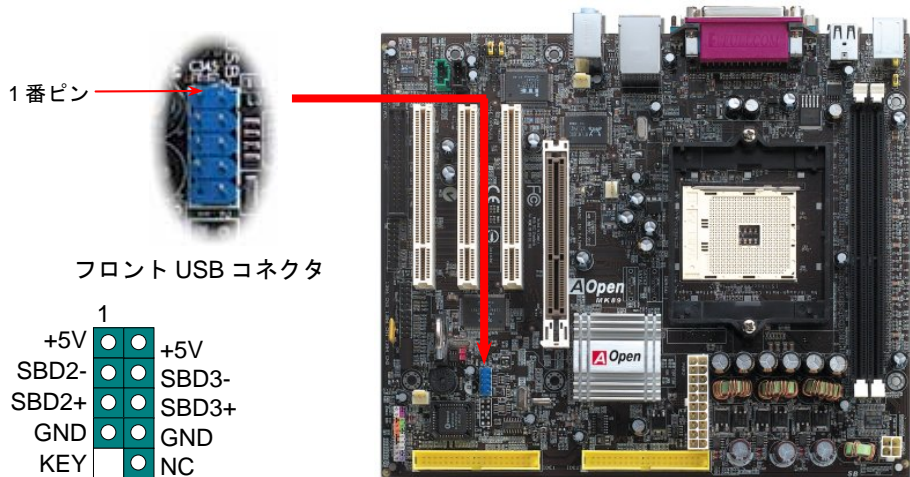
AGERE FW323 をオンボードで搭載することによって、IEEE 1394 は 400Mb/s に達するデータ転送速度を誇ります。USB1.0/1.1 の転送速度は 12Mbps だけであるのに対して、IEEE 1394 インターフェースはデジタルカメラやスキャナおよび IEEE 1394 デバイスなど、高速データ転送が要求される装置を接続するのに最適です。適切なケーブルで関連装置を接続してください。



警告: IEEE 1394 はホットプラグ機能をサポートしていないので、ご注意ください。ホットプラグすると、コントローラ IC やマザーボードを焼損してしまう恐れがあります。

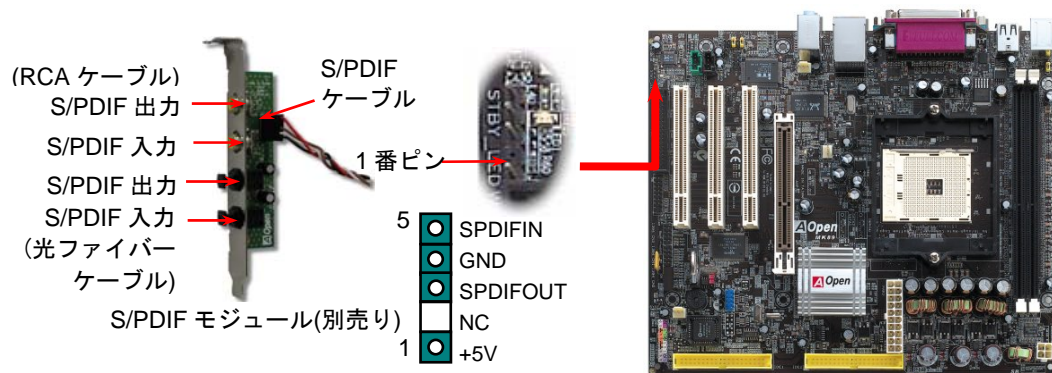
10. USB2.0 コネクタをサポート

このマザーボードは6個のUSBコネクタを提供し、マウス、キーボード、モデム、プリンタ等のUSB機器が接続できます。バックパネルに4個のコネクタがあります。適当なケーブルにより、フロントUSBコネクタをUSBモジュールまたはケースのフロントパネルに接続できます。



12. S/PDIF コネクタの接続

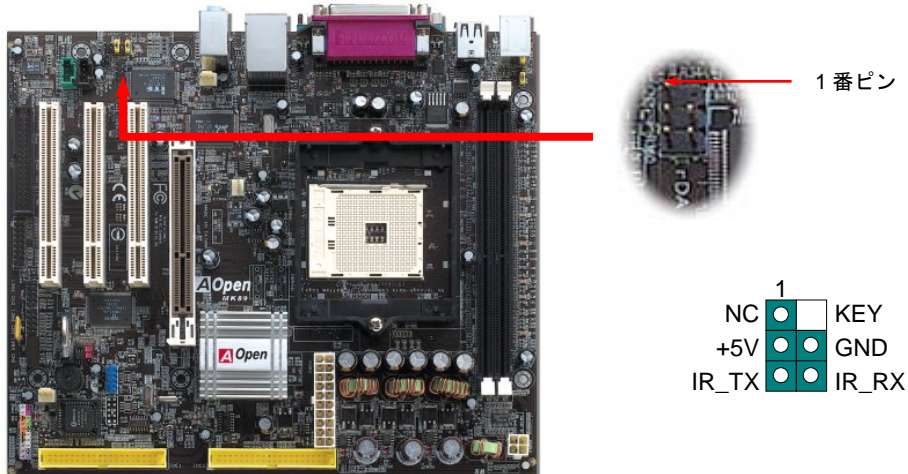
S/PDIF (Sony/Philips デジタルインタフェース)は最新のオーディオ転送ファイル形式で、アナログに取って代わるデジタルオーディオを光ファイバー経由で楽しめます。専用オーディオケーブルにより、SPDIF コネクタと別の S/PDIF デジタル出力をサポートする S/PDIF オーディオモジュールを接続します。一般的には S/PDIF 出力は2つあり、一方は大部分の消費型オーディオ製品に対応する RCA コネクタ、他方はより高品質のオーディオに対応する光コネクタです。出力と同様に、RCA や光学オーディオ製品をモジュールの入力コネクタに接続し、コンピュータから音声や音楽を出すことができます。ただし、S/PDIF デジタル出力の長所を最大限活かすにはモジュールの SPDIF 出力を SPDIF デジタル入力/出力対応スピーカー/アンプ/デコーダーに接続する必要があります。



11. IrDA コネクタの接続

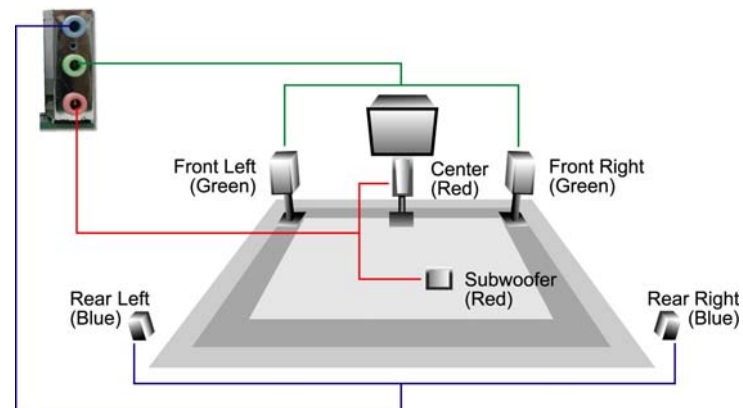
IrDA コネクタはワイヤレス赤外線モジュールの設定後、Laplink や Windows95 Direct Cable Connection 等のアプリケーションソフトウェアと併用することで、ユーザーのラップトップ、ノートブック、PDA デバイス、プリンタ間でのデータ通信をサポートします。

このコネクタは HPSIR (115.2Kbps, 2m 以内)および ASK-IR (56Kbps)をサポートします。IrDA コネクタに赤外線モジュールを差し込んで、BIOS セットアップの UART モードで正しく設定してください。IrDA コネクタを差す際は方向にご注意ください。



13. 高音質の 5.1 チャンネルオーディオ効果

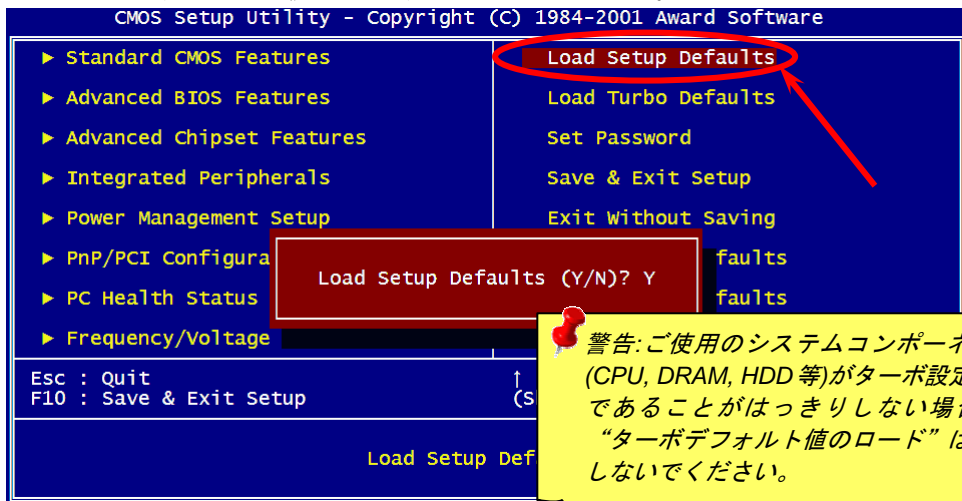
当マザーボードには高音質の 5.1 チャンネル対応の ALC650 Codec が搭載され、新鮮な音声が楽しめます。ALC650 の革新的なデザインにより、外部モジュールを接続せずに、標準的なラインジャックでサラウンドオーディオを出力することができます。この機能を使用するには、Bonus Pack CD からオーディオドライバ及び 5.1 チャンネル対応のオーディオアプリケーションをインストールする必要があります。下図は 5.1 チャンネルサウンドトラックにある全てのスピーカーの標準位置を示しています。フロントスピーカーのプラグを緑の“スピーカー出力”ポートに接続し、リアスピーカーのプラグを青の“ライン入力”ポートに接続し、そしてセンター及びサブウーファースピーカーを赤の“マイク入力”ポートに接続してください。



14. 電源投入及びBIOS セットアップのロード

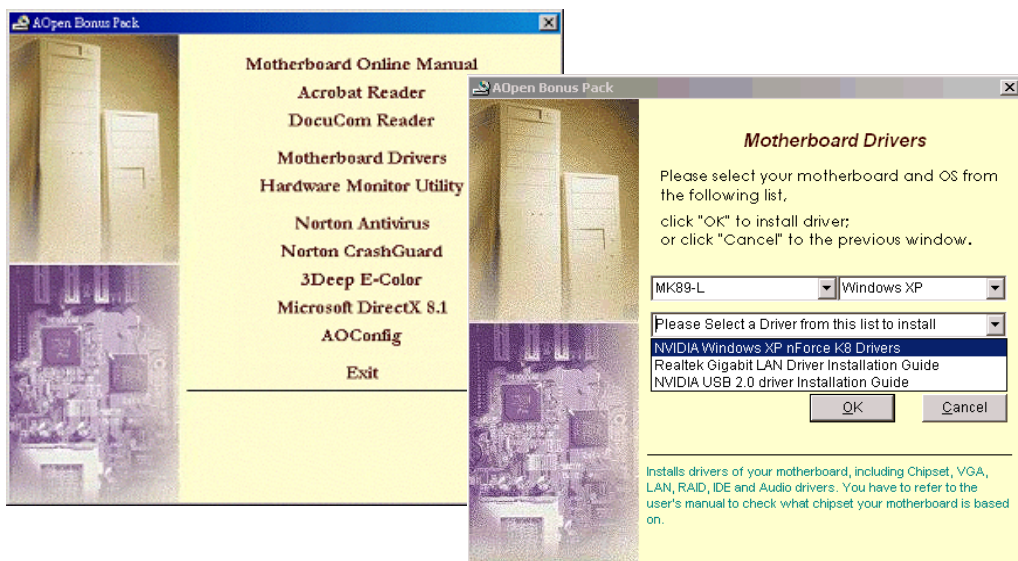
Del

ジャンパー設定およびケーブル接続が正しく行われたら、システムに電源を入れて、POST (電源投入時の自己診断) 実行中にキーを押すと、BIOS セットアップに入ります。最適なパフォーマンスを実現するには"Load Setup Defaults (デフォルト値のロード)"を選択してください。



15. AOpen Bonus Pack CD

Bonus CD ディスクのオートラン機能を利用できます。ユーティリティとドライバを指定し、モデル名を選んでください。



16. Nvidia nForce3 ドライバのインストール

Nvidia ドライバはオーディオドライバやオーディオユーティリティ、GART ドライバ、SMBus ドライバ、メモリコントロールドライバを含むオールインワンパッケージです。



17. Windows 環境における BIOS のアップグレード

下記の手順に従って、EzWinFlash で BIOS のアップグレードを完了してください。アップグレードを開始する前に、必ず全てのアプリケーションを終了してください。

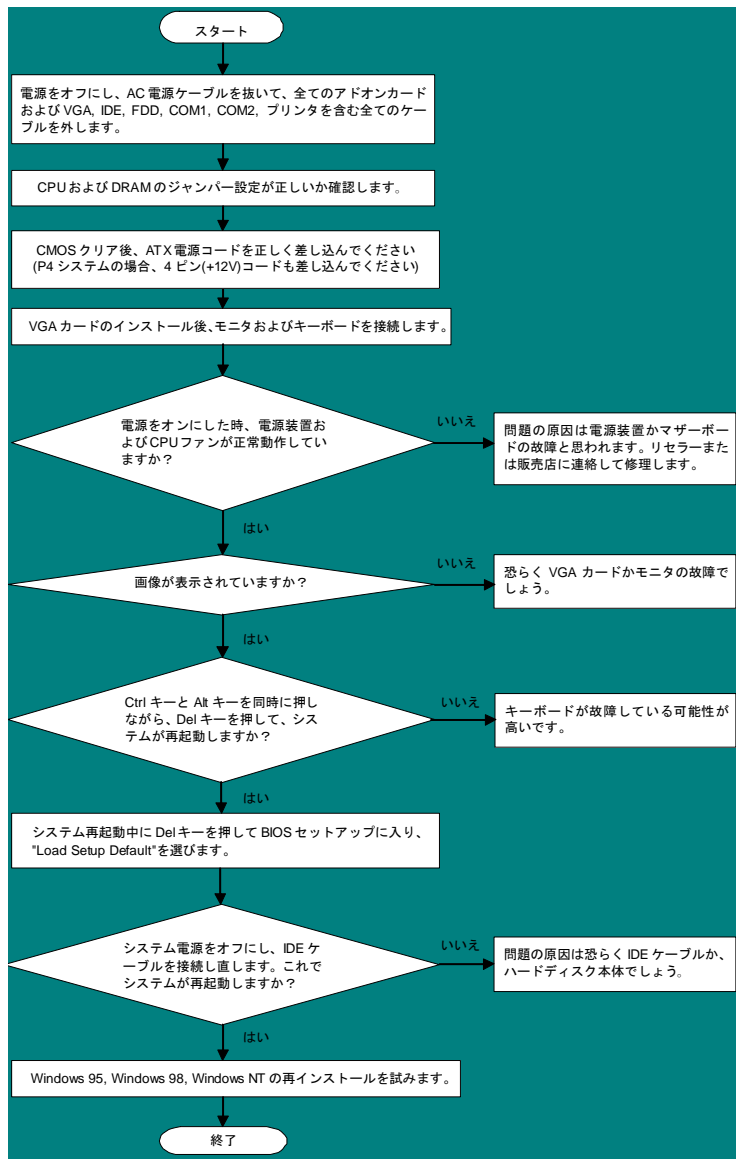
1. AOpen の公式ウェブサイト(<http://aopen.co.jp/>)から最新の BIOS パッケージ zip ファイルをダウンロードします。
2. Windows において、WinZip (<http://www.winzip.com/>) で BIOS パッケージ(例えば、WMK89N102.ZIP)を解凍します。
3. 解凍したファイルをフォルダに保存します。たとえば、WMK89N102.EXE 及び WMK89N102.BIN. です。
4. WMK89N102.EXE をダブルクリックしたら、EzWinFlash はご使用のマザーボードのモデルネーム及び BIOS バージョンを検出します。BIOS が間違ったら、フラッシュ操作を続行することはできません。
5. 主要メニューから言語の指定を行い、「フラッシュ開始」をクリックしたら BIOS アップグレード作業が開始します。
6. EzWinFlash はアップグレード作業を自動的に完了します。完了後、ポップアップダイアログボックスからコンピュータを再起動するよう聞いてきますので、「はい」をクリックして Windows を再起動します。
7. POST 時にキーを押して BIOS セットアップを起動します。"Load Setup Defaults"を選び、「Save & Exit Setup (保存して終了) します。これで完了です。

フラッシュ処理の際に、絶対にアプリケーションを実行したり電源を切ったりしないで下さい!!



トラブルシューティング

システム起動時に何らかの問題が生じた場合は、以下の手順で問題を解決してください。



パーツナンバー及びシリアルナンバー

パーツナンバー及びシリアルナンバーがバーコードラベルに印刷されています。バーコードラベルは包装の外側、PCBのコンポーネント側にあります。以下は一例です。



P/N: 91.88110.201 がパーツナンバーで、S/N: 91949378KN73 がシリアルナンバーです。

モデルネーム及びBIOSバージョン

モデルネーム及びBIOSバージョンがシステム起動時の画面 (POST 画面)の左上に表示されます。以下は一例です。



MK89-Nがマザーボードのモデルネームで、R1.02がBIOSバージョンです。



テクニカルサポート

お客様各位へ

この度は、AOpen 製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。お客様への最善かつ迅速なサービスが弊社の最優先するところでございます。しかしながら、毎日世界中から E メール及び電話での問い合わせが無数であり、全ての方に遅れずにサービスをご提供いたすことは極めて困難でございます。弊社にご連絡になる前に、まず下記の手順で必要な解決法をご確認になることをお勧めいたします。皆様のご協力で、より多くのお客様に最善のサービスをご提供していただけます。

皆様のご理解に深く感謝を申し上げます!

AOpen テクニカルサポートチーム一同

太平洋地域

AOpen Inc.

Tel: 886-2-3789-5888

Fax: 886-2-3789-5899

ヨーロッパ

AOpen Computer b.v.

Tel: 31-73-645-9516

Fax: 31-73-645-9604

中国

艾爾鵬國際貿易(上海)有限公司

Tel: 86-21-6225-8622

Fax: 86-21-6225-7926

アメリカ

AOpen America Inc.

Tel: 1-510-489-8928

Fax: 1-510-489-1998

ドイツ

AOpen Computer GmbH.

Tel: 49-1805-559191

Fax: 49-2102-157799

日本

AOpen Japan Inc.

Tel: 81-048-290-1800

Fax: 81-048-290-1820

ウェブサイト: www.aopen.co.jp

電子メール: 下記の連絡フォームをご利用になり、メールでご連絡ください。

英語 <http://english.aopen.com.tw/tech/default.htm>

日本語 <http://www.aopen.co.jp/tech/default.htm>

中国語 <http://www.aopen.com.tw/tech/default.htm>

ドイツ語 <http://www.aopencom.de/tech/default.htm>

簡体字中国語 <http://www.aopen.com.cn/tech/default.htm>

